

# こどもの国ニュース

第584号 2018年12月号

発行 社会福祉法人こどもの国協会  
〒227-0036 横浜市青葉区尔良町700(☎045-961-2111)  
編集・制作 (株)朝日新聞メディアプロダクション 印刷 (株)朝日プリント

- ②実験や工作を通して地球環境学ぶ  
牧場さんぽ  
③秋まつりでフラーフ大会盛況  
連載コラム「自然の扉 ひらけごま」  
④吹奏楽コン、26校が熱演  
しぜんのことあれこれ

こどもの国ニュースの用紙は  
王子製紙株式会社のご提供によるものです

## 屋外リンク 15日オープン

スケートリンクは幅60メートルと30メートルの楕円形で、反時計回りに滑ります。10時に開き、入場は15時まで、閉場は16時です。貸し靴は16センチから30センチまでご用意しています。

期間中に5回以上スケートをするお客様には、お得な「スケートメイト券」があります。12月8日(土)から正面入口案内所で販売を始めます。

### お得な券2種類

通称「メイト券」は、①入園料②スケート入场料③貸靴券を含みます。期間中、提示をして何度でも入園し、スケートができます。大人550円、小学生3000円、幼児2500円で、来年2月3日(日)まで販売します。



## 遊ぼう! 平成最後のお正月

平成最後のお正月がやってきました。こどもの国は1月2日(水)から営業をはじめます。様々な迎春イベントで皆さまの来園をお待ちしています。

2日と3日(木・金)の11時と13時30分から2回、「ジャンボカーニバル」と「大広場で開催します。縦横1メートルもある大きなおもちゃは、カーネバーナルをテーマに、年齢、学年別などで競い、札を取った人にお菓子をプレゼント。札が少なくなるまで続けます。参加は無料です。家族で参加し、お正月気分を味わってください。

また、2日、3日の開園时刻に合わせて、正面入口でポニーガミさんをお出迎えします。正面入口を入れると見える陸橋には、12月27日(木)から1月



## 1月2日開園 ジャンボカルタなど催し

7日(月)まで、高さ2・3メートルの「ジャンボ鏡もち」を飾ります。このほかにも「コマ」で遊び、「こどもの国一周! ジャンボすごろく」などたくさんのお正月イベントを用意していまさいます。

小中学生を例にとると、1回で①②

00円②150円③500円計850円ですから、5回目以降は無料で滑ることができます。このほか、1日利用でもお得な「セット券」があります。①②③がセットになった券で、大人1100円、小中700円。幼児600円があります。メイト券とセット券を比較し、ご利用に合わせてご購入ください。

# スケート 風を感じて

人気のスケートリンクが、12月15日(土)にオープンします。来年の2月24日(日)まで約2ヶ月の営業です。冷たい風を感じながらの屋外リンクで、氷を凍らせて作る透明な氷が自慢です。

### 「透明な氷」自慢

**フィギュアスケート**

**グランプリファイナル**  
**世界一決定戦2018**

12/7[金]・8[土]・9[日]

よる7:30~  
よる6:56~  
よる9:00~

tv asahi

この広告はグランプリファイナル出場選手決定戦にて制作されています。

お 頼 い  
このお国は、皇太子殿下（現天皇陛下）の御宿泊御典幸事業として、全国から寄せられた国民のお祝い金を基金に、昭和40（1965）年に開園しました。以降の中でも、こどものびやかに遊べる施設づくりと独創的な遊びの場の提供に努めました。  
小紙は開園当初からこどもの14の活動や取組みを紹介し、各地の教育委員会の協力で、全国の小・中学校に広く配布していただいています。引き続き配布していく予定です。お力添えをお願い申しあげます。

教 育 長 各位  
社会福祉法人こどもの国協会  
事務所長各社



山こどもの村は、自然をそのまま生かした環境の中にある児童施設です。昭和47年(1972年)、福島県伊達市にできました。震災から7年が経ち、入場料数は年間約3万人で表現されています。

## 霊山こどもの村

園内の「遊びと学びのミュージアム」は平成6(1994)年に開館し、建物はアース(地球)をテーマに、アート(文化・芸術)とサイエンス(科学)で表現されています。



今年は、「いつしょつてうれしいなー」をテーマに、様々な垣根を超えた作品展示を行いました。これからも、豊かな自然に親しめ、多様な作家によるワクショットを行いました。このクリエイティブな環境づくりを進めます。多彩なワークショップを通して、子どもたちが五感で感じる驚きや創造性を大切に、様々な体験ができる施設を目指していきます。

(霊山こどもの村)

## 自然とアートに親しみ、のびのびと

# フラフープ大会・ヒーローショー盛況



10月6日(土)～8日(祝)の3連休に「子どもの国秋まつり」(朝日新聞社後援)が中央広場で開かれ、天気にも恵まれて連日大にぎわいました。

8日の第3回「フラフープマン・ユーヤ杯」には小学生93人が参加。どれだけ長く回転させられるかを競い、予選・準決勝を通過した41人が決勝に進みました。熱戦の末、小学5年のヨリさんが3度目の優勝に輝き、金色のヒ

「フラフープを贈られました。2位の銀色を力なさんが、3位の銅色をカノンさんが獲得しました。

「フラフープマン」とこと山田裕也さんは、大きなフラフープを回すギネス記録保持者。次大会は春まつりに開催されます。

中日の7日(日)には、テレビで放送中の「仮面ライダージオウ」のヒーローショーがあり、目の前で繰り広げられるアクションに、子どもたちからたくさんのお声援が送されました。

ほか、別会場を通して、日本けん玉協会の先生から直接指導を受けられる「けん玉教室」や、自分で押したスタンプの絵柄を探して歩く「自然スタンピング」、竹馬や縄跳びを自由に使って樂む「軽スポーツ遊びをばほう」、かざぐる作りもありました。

## 牧場牛乳100%のまんじゅう新販売

子どもの国のお土産に、新商品のおまんじゅう「はまのえん」が加わりました。1個売りで、150円。牧場の売店で好評販売中です。

牧場で製造されている特別牛乳「サンガリーン」を100%使用した、白あんこのミルクまん

じゅうです。作っているのは地元の創作菓子店「アトリ」。洋菓子が中心だというアトリの鈴木社長は「おいしい和の素材を取り入れました。とてもやわらかくて食べやすく、さっぱりしました」と話します。



人気商品の「サブレ」もアトリ製です。ともに日持ちがしますので、お土産にぜひ、どうぞ。



「キチキチ！ キーーキーー」と秋から冬にかけて甲高い声で鳴く野鳥がいます。モズです。

モズは1羽だけでなればいを

持ち越冬するため、侵入する鳥

に高鳴きで威嚇

しているのです。

様々な鳥をまねたさえずりを

するため「百舌」という漢字が

ついています。冬に見られるこ

とが多いのですが、日本に一年

中いる留鳥です。

スズメの仲間という温厚なイ

メージとは異なり、昆虫や両生

類、小型の鳥や動物も食べるど

う猛な面もあります。大きさは

体長20センチほどと、スズメよ

り少しきらい程度です。茶褐色

の頭とお腹に、灰色の翼と尾を

しています。過眼線の色で才

ス・メスを見分けることがで

ります。過眼線の色で才

ス・メスを見分けることがで

ります。

脚が弱いためフオーリのように

刺して食べる、細張りをアピー

ルする、など諸説ありますが、

本当の理由はまだ解明されてい

ません。

嘴の先がタカの仲間のよう

にあります。過眼線の色で才

ス・メスを見分けることがで

ります。

脚が弱いためフオーリのように

刺して食べる、細張りをアピー

ルする、など諸説ありますが、

本当の理由はまだ解明されてい

ません。

